

陸水グループ活動報告

花 里 孝 幸

1 今年度の活動

陸水学とは湖や川などを対象にして研究する学問である。信州大学山岳科学総合研究所では主に諏訪湖、白樺湖、白駒池のミジンコを通して自然環境を調べている。この活動に市民も加わり、裾野を広げられればと考えている。

今年度は市民研究員養成講座第1期3年の初年度ということもあり、ミジンコとはどういう生きものか、調査研究はどのように行っているのか、そこから見えてくる自然環境とは何か、われわれはどうすればよいのかについて学習するとともに、市民でも取り組めるミジンコを扱った実験や研究について検討してみた。

<今年度の活動の記録>

5月11日(土) ミジンコの体のつくりについて、ミジンコの生態、湖沼調査について講義

5月18日(土) 田圃(安国寺付近)でミジンコの採集、カイミジンコとタマミジンコ、顕微鏡観察

6月8日(土) 田圃(安国寺付近)でミジンコの採集、顕微鏡観察、湖の生態系について講義

6月22日(土) 物質循環、エネルギーの流れ、富栄養化、諏訪湖の浄化システム等について講義

8月6日(火) 諏訪湖のミジンコ採集調査 定量的解析法の学習

8月7日(水) 白樺湖のミジンコ採集調査 定量的解析法の学習

8月8日(木) 白駒池のミジンコ採集調査、定量的解析法の学習

10月4日(金) グループで行う水槽実験の検討、植物性プランクトンを発生させミジンコを入れる

11月10日(日) 培養したミジンコを持ち寄って今後の活動検討、小学校への出前講座等

12月13日(金) ミジンコ飼育体験報告、来年度の活動内容の検討

2月4日(火) 新年度の活動内容の確認、活動展の準備

3月18日(火) 新年度の活動の具体案提示、主に水田ミジンコの調査

3月23日(日) 活動展イベントデー、市民研究員認定証授与式参加

2 新年度の活動について

水田のミジンコ調査を中心に、以下を計画している。

①水田のミジンコ調査

水田に水張り後1週間に1回程度、種類と発生数を追跡調査する

②小さな池やため池のミジンコ調査

③学校への出前授業

④その他 博物館玄関前に植物性プランクトン培養水槽を展示

3 陸水グループ参加者 5名

飯田 美智子

鵜飼 恭子

桑垣 寛

小池 春夫

大塚 光子